



報道関係各位

2016年5月26日

## “ものづくり”の夢を实践 工学院大学が「NHK学生ロボコン2016」9年連続本戦出場

工学院大学（学長：佐藤光史、所在地：東京都新宿区/八王子市）のロボットプロジェクト・KRP（工学院大学ロボットプロジェクト）が「NHK学生ロボコン2016～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～」の最終審査を通過し、9年連続の本戦出場となりました。



昨年度出場の様子（ロボットによるバトミントン）

### ＜上級生から受け継がれる技術＞

1-2年生は先輩からロボット作りを基礎から教わり、他大学と合同のロボットコンテストでは優勝、デザイン賞などを受賞するレベルに成長します。その後、上級生による面談を経て、競技用マシンの製作チームに入りますが、他大学との技術交流や卒業生にアドバイスを求めるなど、より確実な技術への探求が終わるわけではありません。そのような豊富なものづくりの経験と施設の充実が、9年連続出場の原動力となっています。2006年にはベスト4に入る記録を残しています。

### ＜チームマネジメント力も育成＞

工学院大学には、ものづくりを通して学生の創造性を育成し、人間としての成長を促進させることを目的とする11の「学生プロジェクト」があります。その1つであるKRPでは、ロボットの設計から制御はもちろん、グループに分かれて進む製作のスケジュール管理や予算管理、チームビルディングなど、製作に必要な全ての工程を学生自身で行います。



ものづくりを支援する「夢づくり工房」  
（八王子キャンパス）

■NHK学生ロボコン2016 ～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～■

開催日:2016年7月10日(日)/会場:大田区総合体育館/競技課題:Clean Energy Recharging the World

＜本件に関するお問い合わせ＞

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課 担当：堀口・関根  
TEL:03-3340-1498/e-mail:gakuen\_koho@sc.kogakuin.ac.jp